

「避難所にも洋式トイレ設置を」など要望次々 頸北地域でも市長の「キャッチボールトーク」

12日の夜、吉川区コミュニティプラザで行われた上越市長の「キャッチボールトーク」集会に参加してきました。今回は柿崎区、大潟区、吉川区、頸城区が対象です。私は市民のみなさんがどんなことを訴えておられるか見てきました。発言の内容を簡潔に紹介します。

●「(国宝の太刀) 山鳥毛については(経済効果など) 数字的根拠を示して市民に説明すべきだ。市教委の説明会では反対の声がまったくなかったと聞いているが本当か」
(柿崎区・男性)

●「災害発生時の高齢者の避難体制についてききたい」
(柿崎区・男性)

●「3日に頸北斎場に行ったが、ここは存続してほしい」
(吉川区・男性)

●「株よしかわ杜氏の郷で梅酒を造るときには吉川産の梅を使ってもらえないか」

(吉川区・男性)

●「(今回の水害時) 南川小学校の古い体育館も避難所になっていたが、雨漏りしていたし、備蓄品も雨にぬれていた。南川小には洋式トイレがひとつしかなく、避難所にも洋式トイレ設置を」
(頸城区・男性)

●「越後よしかわやつたれ祭りは来年20回目となる。行政の力、もう少しだけいたらありがたい」
(吉川区・男性)

●「地域活動支援事業で太鼓を購入させてもらった。申請書類は専門的なこともあり、ハードルが高い。もっと支援を受けやすいようにしてほしい」
(吉川区・男性)

●「上越地域医療センター病院の役割は大きい。今後どうするか」
(仲町・男性)

●「市が作成した観光パンフには間違いがあった。業者任せにしないで自力で作れないか」
(大潟区・男性)

て替えてほしい」

(吉川区・男性)

●「大潟区は全体的に活気がなくなっている。体操アリーナが人を呼び寄せる施設になればと期待している」

(大潟区・男性)

●「総合事務所職員は企画力のある職員になるよう、能力を伸ばしてやる指導を」
(吉川区・男性)

●「子育て支援、充実してほしい。高校野球を上越でも観れるようにしてほしい」
(吉川区・男性)

●「吉川診療所は山本先生の後任をすぐ手配していただき感謝している。ずっとここにいてももらえるようにしていただきたい」
(吉川区・男性)



【ヒヨドリジョウゴ】ナス科の多年性植物。漢字で「鴨上戸」と書きます。白い花が反り返っていてかわいい。花はたいがい9月なのですが、今年は早いです。秋には赤い実がなります。ただし、全体が毒です。

日本共産党議員団

JR 4 駅を視察

日本共産党議員団では11日、JR 東日本の上下浜(写真)、潟町、土底浜、犀潟の各駅を視察してきました。



今回は市民から改善要望が出されているところを中心に状況を確認してきました。

上下浜駅と土底浜駅は無人駅です。同じ無人駅でも大きな差がありました。土底浜駅には券売機が上下線それぞれ1か所あります。駅の南側の上り線ホームへはスロープもありました。議員団では、今後も市内の駅の視察を行い、市民の皆さんから寄せられている要望実現のために頑張ります。



●「旧小学校的な建物で、耐震性も古い。老朽化している。建て直せば、建

●「旧小学校的な建物で、耐震性も古い。老朽化している。建て直せば、建

はしづめ法一の
活動レポート

No.1815 2017.7.16
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第四六三回

ビラを片手に

先だつての月曜日の午後のことです。午前中に議員団会議を終えた私は、ビラを片手に持ち、久しぶりに山間部で訪問活動をしました。この日は猛暑で、夕方にならな

いと外で仕事をするには暑すぎました。

その後、Tさんの姉さんの家にもおじゃまして、元気な様子を確認させてもらいました。風邪で苦勞されたようで顔にはちよつぱり疲れが見えましたが、具合が悪いといった感じではありませんでした。

この日、訪れた家は二十数軒でした。このうちNさんの家では、玄関で「ごめんください」と声をかけると、奥の部屋からお母さんが姿を見せてくださいました。

この日の午後の訪問活動で一番印象に残ったのは、お寺がある集落のMさんです。大きな杉の木の下でこの場所に座り込んで、干しておいたラッキョウの実を一つひとつ取る仕事をしておられました。

「暑いもんだすけ、家にいたがでね。はい、年だすけ……」と言われたものですから、「いくつになんだったね」と尋ねると、まだ八〇代前半です。「おらちは九三だでね。おらちに比べればまだ若い」と言う

Mさんは、大正一五年生まれで九〇歳。息子さんと二人暮らしです。私の顔を見るなり、「おまさん、へさだね」と言つて、仕事の手を休めて私の話し相手になつてくださいました。

「暑いもんだすけ、家にいたがでね。はい、年だすけ……」と言われたものですから、「いくつになんだったね」と尋ねると、まだ八〇代前半です。「おらちは九三だでね。おらちに比べればまだ若い」と言う

Mさんは、大正一五年生まれで九〇歳。息子さんと二人暮らしです。私の顔を見るなり、「おまさん、へさだね」と言つて、仕事の手を休めて私の話し相手になつてくださいました。

「暑いもんだすけ、家にいたがでね。はい、年だすけ……」と言われたものですから、「いくつになんだったね」と尋ねると、まだ八〇代前半です。「おらちは九三だでね。おらちに比べればまだ若い」と言う

Mさんは、大正一五年生まれで九〇歳。息子さんと二人暮らしです。私の顔を見るなり、「おまさん、へさだね」と言つて、仕事の手を休めて私の話し相手になつてくださいました。

「暑いもんだすけ、家にいたがでね。はい、年だすけ……」と言われたものですから、「いくつになんだったね」と尋ねると、まだ八〇代前半です。「おらちは九三だでね。おらちに比べればまだ若い」と言う

Mさんは、大正一五年生まれで九〇歳。息子さんと二人暮らしです。私の顔を見るなり、「おまさん、へさだね」と言つて、仕事の手を休めて私の話し相手になつてくださいました。

「暑いもんだすけ、家にいたがでね。はい、年だすけ……」と言われたものですから、「いくつになんだったね」と尋ねると、まだ八〇代前半です。「おらちは九三だでね。おらちに比べればまだ若い」と言う

Mさんは、大正一五年生まれで九〇歳。息子さんと二人暮らしです。私の顔を見るなり、「おまさん、へさだね」と言つて、仕事の手を休めて私の話し相手になつてくださいました。

「暑いもんだすけ、家にいたがでね。はい、年だすけ……」と言われたものですから、「いくつになんだったね」と尋ねると、まだ八〇代前半です。「おらちは九三だでね。おらちに比べればまだ若い」と言う

Mさんは、大正一五年生まれで九〇歳。息子さんと二人暮らしです。私の顔を見るなり、「おまさん、へさだね」と言つて、仕事の手を休めて私の話し相手になつてくださいました。

「暑いもんだすけ、家にいたがでね。はい、年だすけ……」と言われたものですから、「いくつになんだったね」と尋ねると、まだ八〇代前半です。「おらちは九三だでね。おらちに比べればまだ若い」と言う

Mさんは、大正一五年生まれで九〇歳。息子さんと二人暮らしです。私の顔を見るなり、「おまさん、へさだね」と言つて、仕事の手を休めて私の話し相手になつてくださいました。

今年も長峰城址見学会

2日の午後、吉川区長峰にある長峰城址の保存会主催の長峰城址見学会に参加してきました。今回の案内人は新潟県文化財保護指導委員として活躍中の小島幸雄さんです。

長峰城はいまから400年ほど前のお

城です。大坂夏の陣で功績をあげた牧野忠成が1616年（元和2）から1618年（元和4）の2年間だけ構えた近世の平城ですが、いまでも土塁や空堀などがしっかり残っています。専門家からも評価する声が高く、長峰町内会など地域の人たちが力を合わせて「地域の宝物」として保存に努めています。

案内人の小島さんは、「なんでこんなところに城を造ったのか」と問いかけ、自分で答えていました。「その理由は何と言っても、ここは古砂丘の山だからです。表面は柔らかな土でも中はカチンカチンです。そし



て、もうひとつ、池があったからですよ」と。さらに、「ここは物流を集める基地だったんじゃないか。お城というのは戦（いくさ）だけでなく、経済を考えて造つてあるんです」とも。新鮮な視点でしたね。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと

	7月5日(水)	7月12日(水)
上越南消防署	0.043	0.047
上越北消防署	0.050	0.043
新井消防署	0.053	0.047
頸北消防署	0.043	0.043
頸南消防署	0.057	0.050
東頸消防署	0.050	0.050
高士分遣所	0.053	0.047
名立分遣所	0.053	0.057



初戦敗退
9日は吉川区体育祭でした。私は、たぶん、合併して以来、初めてだと思えます。選手としても参加しました。80キロを超えた体重を生かして、綱引きで貢献できると思っていました。一回戦であえなく敗退しました。